

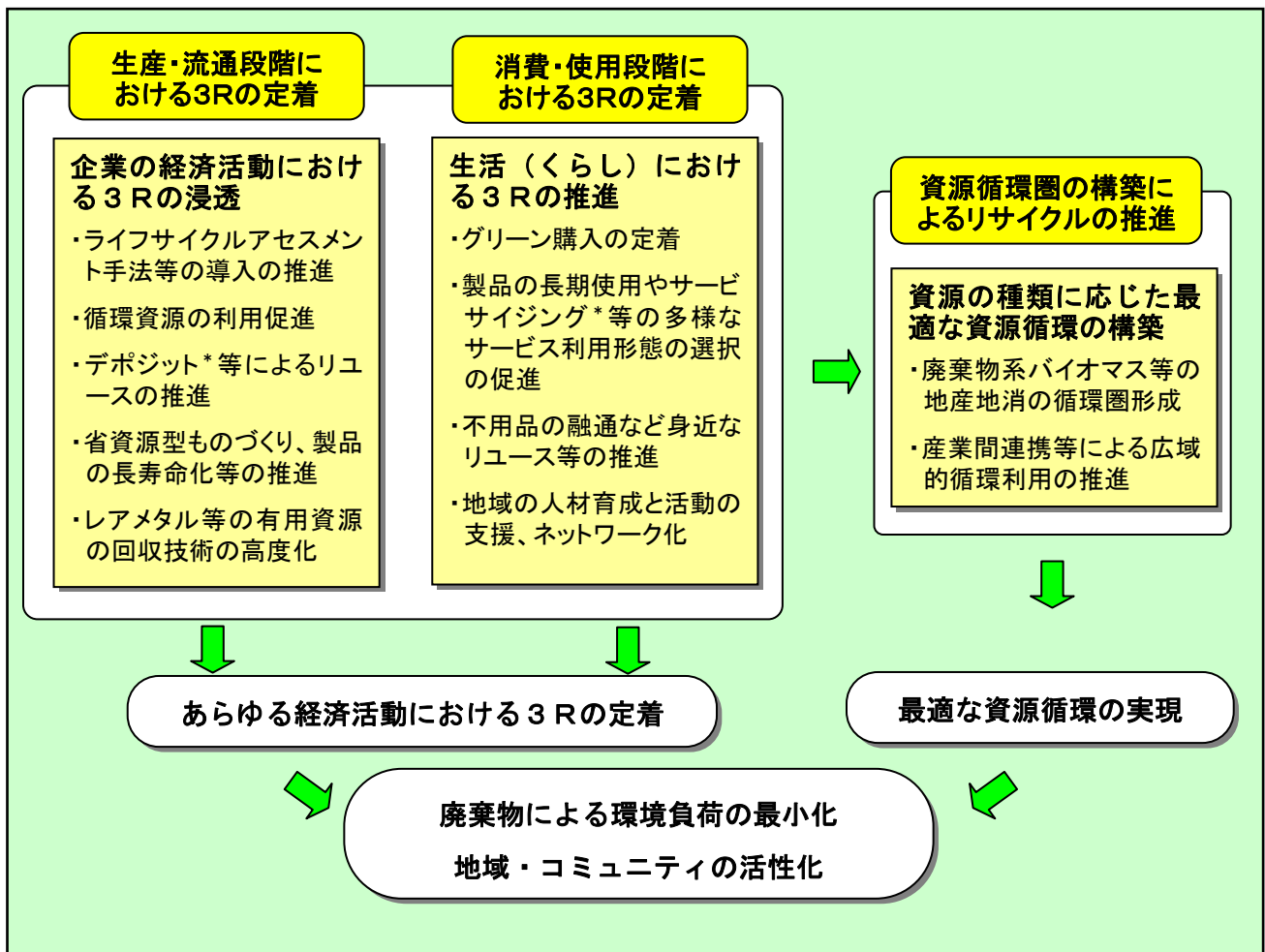
活力ある資源循環型社会形成プロジェクト

このテーマのねらい

生産、流通、消費、廃棄に至る経済活動のすべての段階を通じて3Rの理念を浸透させるとともに、地域や循環資源の特性に応じた最適な循環圏形成による資源循環の実現により、廃棄物による環境負荷の最小化をめざします。

また、これらの取組を通じて、地域やコミュニティの活性化を進め、活力ある資源循環型社会の形成を図ります。

長期的な取組のイメージ



長期的な取組の方向性 (計画期間における施策の展開 ☞p65~67)

企業の経済活動における3Rの浸透

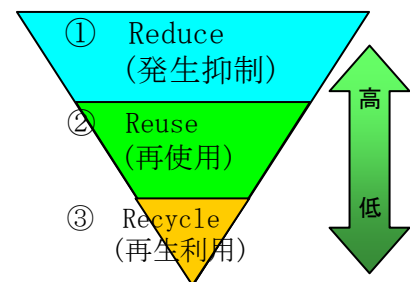
- ・生産から廃棄に至るまでの製品の環境負荷を分析・評価する LCA（ライフサイクルアセスメント）手法やマテリアルフローコスト会計の導入を図る企業を支援し、県内産業への浸透を図ります。
- ・企業間連携により他の企業の生産活動で生じた廃棄物の活用を図るなど、循環資源の積極的な利活用を推進し、ゼロ・エミッションに向けた取組を進めます。

- ・デポジットなどの制度の導入を促進し、容器等のリユースを推進します。
- ・生産段階における資源投入量を抑制する省資源型ものづくりや、製品の長寿命化、リサイクルしやすい製品等の設計を行う環境配慮設計など、廃棄物の発生抑制につながる技術やシステムの高度化を図る企業に対して、サポートの推進を図ります。
- ・産学官の連携により、レアメタル等の有用資源の回収技術や、バイオマスの利活用など、リサイクルを推進するための技術の高度化を促進するとともに、その普及を推進します。

生活（くらし）における3Rの推進

- ・リサイクル製品など環境負荷の少ない商品を優先的に購入するグリーン購入について、一般の消費者への浸透を図ります。また、流通業界等と連携して、消費者が環境負荷の少ない商品を選択しやすいように、国際的なルールに基づいた適正な環境ラベルの普及を推進します。
- ・メンテナンスによる製品の長期使用や、ものの所有に代えて機能の提供を受けるサービサイジングなど多様なサービス利用形態の普及を図ります。
- ・リユースの啓発を進め、フリーマーケット等における不用品の融通など、日常的にリユースを行うライフスタイルへの転換を促進します。
- ・市町村等と連携して、家庭や飲食店・宿泊施設における食べ残しや手つかず食品の廃棄を減らす取組を推進します。
- ・地域の3Rを推進する人材を育成するとともに、ネットワーク化を進め、優れた取組の全県への普及を図ります。
- ・「もったいない」の象徴である不要なレジ袋の削減をきっかけに、生活全般におけるごみの排出抑制や3Rの意識の浸透と拡大を図ります。

環境負荷低減の効果（3Rの優先順位）



資源の種類に応じた最適な資源循環の構築

- ・生ごみ、廃食用油など廃棄物系バイオマスのリサイクルを行っている地域の優れた取組との連携を図り、取組の県内への拡大を推進するとともに、コミュニティ単位や、都市と近郊の農山村など、資源の種類に応じた規模の循環圏づくりを促進します。
- ・先進的なリサイクル事業の支援を進めるとともに、産業間の連携を進めることにより、循環資源の広域的な利活用を推進します。